

3. 販わいと雇用を生み出し、働きがいを育むまち【経済・産業】進捗状況集計

達成状況評価基準	令和元年度評価		事業総合評価	
	取組数	割合	取組数	割合
A【100%又は100%以上】…事業が完了 又は 目標以上成果があった	1	1.5%	0	0.0%
B【70%～A未満】…検討課題がほぼなく 又は あるものの事業を実施中	51	76.1%	51	76.1%
C【50%～B未満】…事業の実施準備が完了 又は完了し事業に着手	9	13.4%	9	13.4%
D【20%～C未満】…課題等への対応中 又は 事業の実施準備がほぼ完了	6	9.0%	7	10.4%
E【0%～D未満】…未着手 又は 着手に向けて検討中	0	0.0%	0	0.0%

令和２年度事業の方向性						
評価		取組数	割合	評価	取組数	割合
A		4	6.0%	C	1	0
					2	0.0%
B	1	54	80.6%	D	1	0.0%
	2	1	1.5%		2	0.0%
		3	11.9%		3	0.0%

※事業の方向性に関する説明は、【資料1】の1ページ目をご覧ください。

【経済・産業】施策評価

項目	取組名称	まちづくり戦略 (優先・重点)	令和元年度事業内容・実績	令和元年度 評価	令和２年度における事業内容	令和2年度の 方向性	事業総合 評価	担当課
3 販わいと雇用を生み出し、働きがいを育むまち【経済・産業】								
1 農林業の振興								
1 都市型農業の推進								
	1 体験農園の推進		みかんオーナー組合やもぎ取り園主と調整を図り、周知活動を実施しました。	B	引き続き、みかんオーナー組合やもぎ取り園主と調整を図り、周知活動を実施します。	B1	B	観光経済課
	2 国・県の支援を得た農道の整備		J Aの要望を踏まえた、中央農道の拡幅の検討を行いました。	D	農業者によるニーズの把握を進めていきます。	B3	D	観光経済課
	3 みかんオーナー組合との連携・支援		みかんオーナー組合と調整を図り、周知活動を実施しました。	B	引き続き、みかんオーナー組合と調整を図り、周知活動を実施します。	B1	B	観光経済課
2 付加価値農業の推進								
	1 農産物加工品（特産品）の開発推進	重点	特産品開発事業補助金により、財政的支援を実施しました。 補助金：1件 200,000円	B	特産品開発事業補助金により、財政的支援を実施します。 補助金予算：400,000円	B1	B	観光経済課
3 有害鳥獣被害対策の推進								
	1 有害鳥獣駆除活動の実施、支援		有害鳥獣駆除実施隊による駆除の実施、新規隊員の育成支援を行いました。	B	引き続き、有害鳥獣駆除実施隊による駆除の実施、新規隊員の育成支援を行っていきます。	B1	B	観光経済課
	2 有害獣被害防護柵の維持・管理・整備		広域防護柵の維持管理を委託しました。	C	今年度についても、広域防護柵の維持管理を委託するとともに、倒壊箇所の修繕を行っていきます。	B3	C	観光経済課
	3 猟友会と農家との連携によるわなの設置の促進		わなを設置したい農家とわな設置の免許を持つ猟友会をつなげ、わな設置の促進を図りました。	B	わなを設置したい農家とわな設置の免許を持つ猟友会をつなげ、わな設置の促進を図ります。	B1	B	観光経済課
	4 有害獣防止柵設置材料費補助制度の活用促進		個々の農家が有害獣防止柵を設置する際の財政的支援を行いました。 補助金：3件 588,000円	B	個々の農家が有害獣防止柵を設置する際の財政的支援を引き続き実施していきます。 補助金予算：600,000円	B1	B	観光経済課
	5 狩猟免許取得費補助制度の活用促進		狩猟免許取得を奨励するための財政的支援を行いました。 補助実績：わな猟免許3件、銃猟免許2件	B	狩猟免許取得を奨励するための財政的支援を継続して実施していきます。	B1	B	観光経済課
	6 ヤマビル対策の推進		管理センターなどへのヤマビル忌避剤の設置を行いました。また、ヤマビル駆除剤のハイキングコースなどへの散布を地域の方々と協働で行いました。	C	引き続き、管理センターなどへのヤマビル忌避剤の設置を行います。また、ヤマビル駆除剤のハイキングコースなどへの散布を地域の方々と協働で行います。	A	C	観光経済課
	7 ハンター育成事業		鳥獣被害防止対策協議会において、わな猟体験とジビエ料理体験を実施しました。	B	引き続き、鳥獣被害防止対策協議会において、わな猟体験とジビエ料理体験を実施します。	B1	B	観光経済課

【経済・産業】施策評価

項目		取組名称	まちづくり戦略 (優先・重点)	令和元年度事業内容・実績	令和元年度 評価	令和２年度における事業内容	令和2年度の 方向性	事業総合 評価	担当課	
	4 荒廃農地対策の推進									
	1	国・県の支援を得た農道の整備（再掲）		J Aの要望を踏まえた、中央農道の拡幅の検討を行いました。	D	農業者によるニーズの把握を進めていきます。	B3	D	観光経済課	
	2	新規就農者、高齢就農者等への就農体制の整備・推進		人・農地プランの実質化、農地中間管理機構と連携した就農体制を推進しました。	B	引き続き、人・農地プランの実質化、農地中間管理機構と連携した就農体制を推進します。	B1	B	観光経済課	
	3	農地中間管理機構を活用した農地の利用集積の推進		農地中間管理機構と連携した農地利用集積の推進を図りました。	B	引き続き、農地中間管理機構と連携した農地利用集積の推進を図っていきます。	B1	B	観光経済課	
	4	荒廃農地への景観植物・広葉樹植栽の推進		県による財政支援のある里地里山保全事業に位置付けながら、荒廃農地の解消を進めました。	B	県による財政支援のある里地里山保全事業に位置付けながら、引き続き、荒廃農地の解消を進めてまいります。	B1	B	観光経済課	
	5	人・農地プランの推進		人・農地プラン実質化に向けた工程表の作成やアンケート調査を実施（寄地区のみ）しました。	B	アンケートの地図化及び地域座談会を開催（寄地区のみ）します。	B1	B	観光経済課	
	6	農業委員会との連携による、農地パトロールの実施と荒廃農地対策		農業委員会による農地パトロールの結果に基づく農地の利用状況の把握を行いました。	B	引き続き、農業委員会による農地パトロールの結果に基づく農地の利用状況の把握を行っていきます。	B1	B	観光経済課	
	7	農地・林地等の情報等データ整備事業		農地台帳・林地台帳の更新を行いました。	B	随時、農地台帳・林地台帳の更新を行っていきます。	B1	B	観光経済課	
	5 森林の保全・育成									
	1	森林組合の支援		町有林、民有林ともに県の補助を受けながら、組合に整備を任せるかたちで団体の仕事を確保し、支援しました。	B	引き続き、町有林、民有林ともに県の補助を受けながら、組合に整備を任せるかたちで団体の仕事を確保していきます。	B1	B	観光経済課	
	2	水源の森林づくり事業の推進		県主導で、水源涵養林など森林の持つ公益的機能の高い「豊かで活力ある森林」を目指した、水源の森林エリア内の私有林の適切な管理、整備を進めました。	B	引き続き、県主導で、水源涵養林など森林の持つ公益的機能の高い「豊かで活力ある森林」を目指した、水源の森林エリア内の私有林の適切な管理、整備を推進していきます。	B1	B	観光経済課	
	3	地域水源林整備事業の推進		水源環境保全・再生施策市町村補助金（県補助金）を活用した私有林の整備を進めました。	B	引き続き、水源環境保全・再生施策市町村補助金（県補助金）を活用した私有林の整備を進めます。	B1	B	観光経済課	
	4	体験学習等の実施		やどりき水源林のつどいを開催（共催）予定でしたが、台風被害により中止となりました。	B	やどりき水源林のつどいを開催（共催）します。	B1	B	観光経済課	
	5	森林資源の活用		松田小学校の建て替えにおける木材利用や木質バイオマス事業の検討を行いました。	C	引き続き、森林資源を活用する木質バイオマス事業などの検証を進めます。	B1	C	観光経済課	
	6	木質バイオマス事業化の推進	優先	木質バイオマスエネルギー導入計画を基に、任意協議会等において、具体的な事業モデル等の検討を実施しました。	B	木質バイオマスエネルギー導入計画を基に、協議会等において、具体的な事業モデル等の検討していきます。 また、健康福祉センターへの木質バイオマスボイラーの導入を進めます。	B1	B	環境上下水道課	
	6 松田山の保全と利活用									
	1	松田山の保全の推進		農地の状況把握を行いました。	D	実態把握と課題整理を進めていきます。	A	D	観光経済課	
	2	松田山の利活用の推進	重点	農地の状況把握を行いました。	D	実態把握と課題整理を進めていきます。	A	D	観光経済課	
	2 商工業の振興									
	1 経営の安定化									
	1	商工振興会の支援		商工振興会事業への財政的支援を行いました。 補助額：1,375,000円	B	引き続き、商工振興会事業への財政的支援を実施します。	B3	B	観光経済課	
	2	中小企業退職金共済制度の活用促進		中小企業退職金共済制度奨励補助金による財政的支援を行いました。 補助額：729,100円	B	引き続き、中小企業退職金共済制度奨励補助金による財政的支援を実施していきます。 補助金予算：796,000円	B1	B	観光経済課	

【経済・産業】施策評価

項目				取組名称	まちづくり戦略 (優先・重点)	令和元年度事業内容・実績	令和元年度 評価	令和２年度における事業内容	令和2年度の 方向性	事業総合 評価	担当課
			3	中小企業信用保証料補助制度の活用促進		中小企業信用保証料補助金による財政的支援を行いました。 補助額：150,000円	B	引き続き、中小企業信用保証料補助金による財政的支援を実施します。 補助金予算：400,000円	B1	B	観光経済課
			4	小規模事業者経営改善資金利子補助制度の活用促進		小規模事業者経営改善資金利子補助金による財政的支援を行いました。 補助額：336,700円	B	引き続き、小規模事業者経営改善資金利子補助金による財政的支援を行います。 補助金予算：500,000円	B1	B	観光経済課
			5	商工会との連携による事業承継対策の推進		創業支援事業計画による支援の枠組みを継続して運用しました。	C	ニーズ把握と対応策の検討を進めます。	B1	C	観光経済課
			2 観光と連携した商業振興								
			1	桜まつり等の各種イベントの実施連携・協力		関係機関との連携・協力により、町ぐるみでイベントの盛り上げ機運を高めることができました。	B	令和２年度についても、関係機関との連携・協力により、町ぐるみでイベントの盛り上げ機運を高めていきます。	B1	B	観光経済課
			2	イベント開催時における地場産品の販売促進		産業まつりにおける地産地消の会や養魚組合など、地場産品の販売場所を確保しました。	B	産業まつりにおける地産地消の会や養魚組合など、地場産品の販売場所を確保していきます。	B1	B	観光経済課
			3	コスモス館等での地元農産物の消費拡大の支援	重点	コスモス館の運営について財政的支援（家賃の一部を負担）を行いました。	B	引き続き、コスモス館の運営について財政的支援（家賃の一部を負担）を実施していきます。	B1	B	観光経済課
			4	まつだ乾杯条例の推進		松田乾杯条例推進協議会への事業委託を行い、普及啓発グッズ（コースター）を作成しました。	B	松田乾杯条例推進協議会への事業委託を行い、推進します。（委託による事業内容については検討中）	B1	B	観光経済課
			5	おもてなし・お休み処「つむGO」の利活用	重点	駅前案内・待合所としての施設管理に加え、利便性向上に資するよう、あしがら観光協会が整備する観光案内デジタルサイネージを誘致しました。	B	継続した施設管理に加え、町内全体のインバウンド環境整備なども踏まえ、多様な利活用に対応できるよう配慮しながら運営していきます。	B1	B	観光経済課
			3 特産品開発事業の支援								
			1	特産品開発事業補助制度の活用促進		特産品開発事業補助金による財政的支援を行いました。 補助額：200,000万円	B	引き続き、特産品開発事業補助金による財政的支援を行っています。 補助金予算：400,000円	B1	B	観光経済課
			4 新松田駅前等基盤整備事業に伴う商店街の活性化								
			1	新松田駅前等の基盤整備事業に伴う商店街の活性化についての支援	優先	町内若手事業者と駅周辺整備における商店街のにぎわい創出に向けた街歩き等を実施しました。	C	引き続き、駅周辺整備における商店街のにぎわい創出に向けた取組みを行っています。	B1	C	観光経済課
			2	商工会、地元商店街と連携した消費拡大の促進	重点	町内若手事業者と駅周辺整備における商店街のにぎわい創出に向けた街歩き等を実施しました。	C	引き続き、駅周辺整備における商店街のにぎわい創出に向けた調整を行っています。	B1	D	観光経済課
			5 空き店舗対策の支援								
			1	店舗リノベーション支援補助制度の活用促進	重点	町内における各店舗の集客力や利便性の向上、新たな出店の促進を図ることで、地域経済の活性化とにぎわいにつなげることを目的に財政的支援を実施しました。 補助金：2件 総額718,000円	B	町内における各店舗の集客力や利便性の向上、新たな出店の促進を図ることで、地域経済の活性化とにぎわいにつなげることを目的に財政的支援を引き続き実施していきます。 補助金予算：1,000,000円	B3	B	観光経済課
			6 買い物弱者支援								
			1	移動販売業者への経営支援		買い物弱者支援事業として、町も主導し立ち上げた移動販売事業の不採算性部分を財政的支援し、事業の継続性を確保しました。 補助額：200,000円	B	買い物弱者支援事業として、町も主導し立ち上げた移動販売事業の不採算性部分を財政的支援し、事業の継続性を確保していきます。 補助金予算：450,000円	B3	B	観光経済課
			2	スーパー及びコンビニエンスストア誘致の検討	重点	既存商店への影響が大きくない地域においては、町有未利用地を活用し、コンビニエンスストアの出店を促しました。	D	行政が主導する内容の整理を行っています。	B1	D	観光経済課
			3	コンビニエンスストアとの連携協力による地元産品の販売促進		特産品開発支援やブランド認定などの取組みを通じて、地元産品の掘り起こしやブラッシュアップを進めました。	D	行政が支援する内容の整理を行っています。	B1	D	観光経済課

【経済・産業】施策評価

項目		取組名称	まちづくり戦略 (優先・重点)	令和元年度事業内容・実績	令和元年度 評価	令和２年度における事業内容	令和2年度の 方向性	事業総合 評価	担当課
	7	雇用、就労の支援							
		1	ハローワークや県等との連携・協力による就労促進	ハローワークの求人情報を町役場観光経済課窓口や公式サイトで閲覧可能とし、就労促進を図りました。	C	引き続き、ハローワークの求人情報を町役場観光経済課窓口や公式サイトで閲覧可能とし、就労促進を図っていきます。	B3	C	観光経済課
		2	町公式サイトや広報・パンフレット等による情報提供や意識啓発	ハローワークの求人情報を町公式サイトに定期的に掲載しました。	B	引き続き、ハローワークの求人情報を町公式サイトに定期的に掲載していきます。	B1	B	観光経済課
		3	勤労者住宅資金利子補助制度の活用促進	令和元年度の実績は、47件 総額1,862,600円を補助しました。	B	制度の継続により補助を行っています。(200万円)	B2	B	観光経済課
		4	勤労者生活資金融資預託金制度の活用促進	勤労者生活資金融資制度により労働者の福祉増進支援を実施しています。(令和元年度については、実績なし)	C	引き続き、勤労者生活資金融資制度により労働者の福祉増進支援を実施していきます。	B3	C	観光経済課
	3 観光の振興								
	1 観光推進体制の充実								
	1	観光協会組織強化への支援		観光振興の中核を担う観光協会へ人件費及び事業費の一部を補助しました。 ・補助額 12,080,000円 事務局費 9,734,000円 事業費 2,346,000円(若葉まつり・観光まつり)	B	観光振興の中核を担う観光協会へ人件費及び事業費の一部を引き続き補助します。	A	B	観光経済課
	2	広域観光圏による観光振興		あしがら観光協会、あしがらローカルブランディング(1市5町)、SKY圏(3県の自治体)、着地型観光において、観光情報の発信やイベント等の連携を行いました。 広域連携及び民間活力導入でサイネージ設置による情報発信 民間初イベント(サイクリング)イベントの検討	B	現行の連携体制を維持しつつ、新たな連携先確保や取り組みを推進します。また、スマートフォンアプリを活用したキャンペーン(スタンプラリー)を実施します。 イベント時の観光情報の発信を推進し、観光関連セミナーを開催します。	B1	B	観光経済課
	3	広域的組織によるハイキングコース・遊歩道の整備・維持修繕		広域ハイキングコースの設定・広報を行いました。また、秦野市・大井町・中井町・松田町の一市三町による広域ハイキングコースの設定・広報も実施しました。	B	ハイキングコースの広域化を図るため山北町と連携し、市町村振興補助金を活用しコースの整備します。 また、地域団体と一般参加者の交流の場を設け、整備体験イベントの実施をすることで、交流人口の拡大や町のファンづくりの推進を図ります。	B1	C	観光経済課
	4	観光ボランティアの育成・支援		観光ボランティアのあり方について検討しました。 平成10年度から活動されていた、桜まつりの観光ボランティアと、今後の活動方針について協議しました。 なお、観光まつりや桜まつりでは、国際交流事業を実施し、その際、国際交流ボランティアが活躍しています。	B	観光ボランティアの方向性や組織化について協議・決定していきます。	B1	B	観光経済課
	5	農泊の推進	優先	主に地域住民を対象にしたニール研修(体験プログラム作りや安全管理の研修)を実施しました。また、YHV有志の会による試行的なイベントの実施や体験プログラムの開発を行い、モニターツアーを実施しました。	B	事業推進体制の確立、人材育成の推進、各種イベントや各拠点と結びつけた事業を展開していきます。	B1	B	観光経済課
	6	旧安藤邸の活用促進		指定管理者の選定に向けたサウンディング及び調整を行いました。	B	指定管理者の選定を進めています。	B1	B	観光経済課
	7	寄七つ星ドッグラン&カフェ(ふれあい農林体験施設)の活用推進	優先	ドッグラン、カフェ及びイベントの開催等を指定管理者とともにを行い、良好な経営状況を築き、構築しました。 ・入園者は平成30年度比で111%の21,578人 ・ドッグランとカフェを併せた収支で黒字化を達成 ・平成30年度から借地料の50%(783,000円)を負担	B	引き続き、ドッグラン、カフェの運営について適切な管理を行い、地域産品や各イベントとの連携を深めていくことによる、地域全体の活性化を図る。	B1	B	観光経済課
	2 観光資源の活用と開発								
	1	観光資源の発掘・活用	重点	・最明寺史跡公園の誘客促進、地域と協働した既存資源の整備を行いました。 ・農泊事業と連動して、体験コンテンツの充実を図りました。	B	地域発の資源(体験コンテンツ)の創出を進めます。	B1	B	観光経済課

【経済・産業】施策評価

項目				取組名称	まちづくり戦略 (優先・重点)	令和元年度事業内容・実績	令和元年度 評価	令和２年度における事業内容	令和2年度の 方向性	事業総合 評価	担当課
			2	松田ブランド認定事業の推進	優先	松田ブランドにつながる可能性のある地域資源の発掘を行いました。また、情報発信ツール整備、ＹＨＶ事業を通じてお茶やみかん、ソバ等の地域資源の見直しと磨き上げを行いました。 新規ブランド2品「おひるねミカンジュース」「丹沢大山茶」を認定し、認定式を記者会見形式で開催しました。	B	新規ブランド品の認定を進めるとともに、情報発信を積極的に行っていきます。	B1	B	観光経済課
			3	桜まつり等の集客イベント開催		松田町観光協会へ委託し実行委員会形式で開催しました。 ・緑化協力金を徴収 ・来場者数 107,000人 ・緑化協力金 13,245,573円	B	松田町観光協会へ委託し実行委員会形式で開催していきます。また、引き続き緑化協力金を徴収をしていきます。	B1	B	観光経済課
			4	ハイキングコース・遊歩道の整備・維持修繕		ハイキングコースの安全確保、情報発信を行いました。また、地域団体と連携し推進しました。 具体的には、既存のハイキングコースの維持管理を行ったほか、ハイキング客の多くが公共交通機関を利用していることから、駅周辺の飲食店と連携し、食事の際にサービスが受けられるなどの特典を付与したスタンプラリー形式のコースマップを作成しました。	B	令和２年度については、次の取組を行います。 ・ハイキングコースの安全確保 ・前年度に作成した特典を付与したハイキングマップを活用し、地域振興につながるスキームを構築 ・地域経済に波及する情報発信	B1	B	観光経済課
			5	ヤマビル対策の推進（再掲）		令和元年度に実施した事業内容は、 ・ヤマビル被害の実態把握 ・効果的な対応策の検討 ・座談会等を通じて地域から、観光拠点等の関係者から被害状況等を聴取 ・ハイキングコース等へ、地域団体に協力していただき草刈りや清掃後に駆除剤の散布を実施	B	昨年度に引き続き、地域団体等に協力していただきハイキングコース、遊歩道等へ草刈りや清掃後に駆除剤の散布をすることにより、効果的にヤマビル被害対策を実施していきます。	B1	B	観光経済課
			6	管理センター等の活用推進		宿泊可能な管理センターとみやまの里運動広場は、利用者が減少傾向にあることから、経営体制の見直しと環境を整備しました。	B	管理センターの利用者の増加を図るため、ホームページの活用や外部への情報発信を強化します。また、経営体制の強化を図るため、課題や経営改善について協議を行います。	B1	B	観光経済課
			7	寄ロウバイ園・ロウバイまつりの活用推進	重点	令和元年度の事業内容は、次のとおりです。 ・情報発信の強化（インスタグラムの活用、マスコミへの情報発信強化） ・コラボイベントの実施（農泊事業と連動、地域の児童の参画） ・入園者は24,864名	B	まつりの持続可能性を確保する取り組みを、地域の力と協働したイベントの実施等で進めていきます。	B1	B	観光経済課
			3 観光情報発信の充実								
			1	テレビ等のメディアやSNSを活用した宣伝		新聞、ラジオ等の各種メディアへの情報投げ込みを随時行い、テレビ番組の誘致、Instagramの運用（ロウバイまつり）など積極的に行いました。 各種メディアへ情報を投げ込んだ影響で、ロウバイまつり等の入込客が増加しました。また、テレビ神奈川のデータ放送や町公式サイト、ツイッターなどのSNSを活用した情報発信も実施しました。	B	メディアでの露出増加を目指し、発信に際しては即時性、ストーリー性に配慮し行っていきます。	B1	B	観光経済課
			2	広域的な観光宣伝事業		令和元年度の事業内容は、 ・広域で新たな誘客に係る方策を実施 ・メールマガジンの配信を目的としたアンケートをあしがら観光協会で実施 ・あしがらローカルブランディングでは、都心部での合同観光PRを実施 ・あしがら観光協会事業として広域でデジタルサイネージを設置（負担なし：役場とつむGOに設置）	B	あしがら観光協会やローカルブランディングを通じて「食」をテーマとした情報発信の強化（地域消費の向上）を推進していきます。	B1	B	観光経済課
			3	国際的な観光宣伝事業		町独自の外国語版情報発信ツールの構築、町観光パンフレットの英語版作成、町英語版サイトの更新（MATSU D A N A V I）を行いました。	B	外国語による情報発信、インバウンド対応環境の向上を実施していくとともに、インバウンド関連サミット等への参画していきます。	B1	B	観光経済課

【経済・産業】施策評価

項目		取組名称	まちづくり戦略 (優先・重点)	令和元年度事業内容・実績	令和元年度 評価	令和２年度における事業内容	令和2年度の 方向性	事業総合 評価	担当課
	4 消費者の保護								
	1 啓発活動等の充実								
	1	県・足柄上地区1市5町と連携した講習会の開催		消費生活センターの出張相談を活用し、小規模な講習会を実施しました。	C	県・足柄上地区1市5町の連携による講習会を開催していきます。	B1	C	観光経済課
	2	あんしんメール・広報・パンフレット等による情報提供		広報・パンフレット等による啓発活動の実施や、県補助金を活用した啓発グッズの作成・配布を行いました。	B	引き続き、広報・パンフレット等による啓発活動の実施や、県補助金を活用した啓発グッズの作成・配布を行っていきます。	B1	B	観光経済課
	2 相談体制の充実								
	1	足柄上地区1市5町と連携した広域的な相談体制の充実		消費生活センターの共同運営（南足柄市を中心とした足柄上地区1市5町）しています。	A	引き続き、消費生活センターの共同運営（南足柄市を中心とした足柄上地区1市5町）していきます。	B1	B	観光経済課